

川崎市立向小学校・出前授業「風呂敷包み」実施報告書

平成28年12月4日

神奈川県環境・エネルギー学校派遣事業について、次のとおり実施したので報告します。

委託業務名	環境・エネルギー学校派遣事業		
実施日	平成28年11月4日（金）		
実施学校名	川崎市立向小学校 (〒210-0834 川崎市川崎区大島4-17-1)		
授業テーマ名	風呂敷包み～ごみを増やさないエコ生活～		
対象学年	5年生	受講児童（生徒）数	72名
授業実施者人数・氏名	5名 岡本正義、嶋田和夫、照沼俊夫、吉野榮一、大野昌美		
<p><b>実施した授業の概要</b></p> <p><b>授業目標：</b>・ごみをリサイクルする、リユースする、リデュースすることによって、地球温暖化が防げ、生き物を守れ、きれいな街と地球を守れることに気付きます。究極のリデュースである風呂敷包みを体験するとともに風呂敷のいろいろな使い方を学ぶ。</p> <p><b>授業実施方針：</b>・1クラス毎に2コマ（2時限）の授業を2回（2クラス）実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1クラス児童36名を6つのグループに分けて、2グループに1人の授業実施者が付いて、児童をきめ細かくアドバイスし、サポートする。</li> <li>・授業は、クイズを主体に実物を見ながら学習を進める。風呂敷の包み方は、全員で体験学習をする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業開始（10時45分）の1時間前に学校に入り、授業を行う家庭科室で3Rの授業機材の準備とリサイクル機材を6グループに分け、パソコンの立ち上げを行った。</li> <li>・授業の終わりにワークシートを配布して、児童の感想や今後やろうとすることを書いてもらい、発表してもらった。</li> </ul> <p>授業プログラムに沿って概要を記載する。</p> <p><b>前半45分のプログラム</b></p> <p>①地球、自然の素晴らしさを画像で見て、ごみが増えたらどんなことが起こるかを実例で示した。ごみを増やさないためにはどうしたら良いかを児童に問い掛けて発表してもらった。</p>			

- ②リサイクルを学ぶ：牛乳パックは何に再生されるか？筆記具や服・バッグは何から再生されたかを実物を見、触って発表してもらった。大事なことは知識として知っているのではなく、商品に記載してある環境マーク・記述に注意を払い、見ることであることを理解させた。
- ③リユースを学ぶ：掃除をする時、何を使ってきれいにするか？ごみを増やさない掃除はどれか？を雑巾、フローリングワイパー、電気掃除機を使って、寸劇を行い、児童に考えさせ、発表してもらった。
- ④リデュースを学ぶ：買い物をする時に何を使って持ち帰るか、ごみを増やさない持ち帰り方をレジ袋、エコバッグで寸劇を行い、児童に考えさせ、発表してもらった。
- ⑤街中の3R発見：、リサイクルショップ、スーパーなどのレジ袋不要タグ、特定のごみ出し日の様子、ごみ分別の回収箱などの写真を見て、ごみを増やさない街中の工夫を発見してもらい、各グループから発表してもらう。

### 後半 45 分のプログラム

- ⑥日本のレジ袋の使用実態を図示し、1人一日当たり1枚のレジ袋を使って、ごみとして捨てていることを理解させた。
- ⑦レジ袋やエコバッグを使わない究極のリデュースとしての風呂敷包みの体験：全員が行う
- ・図鑑を利用して四角の物を包む四つ結び包みを体験した。
  - ・フランスパン模型を使って、長い物の包み方を体験した。
  - ・500ml ペットボトルを使って、びんの包み方を体験した。
  - ・2人で協力して風呂敷2枚でリュックサックを作り、図鑑やペットボトルなどを入れて、背負ってみてリュックサックとして使えることを実感した。
- ⑧風呂敷の別の用途を学び、体験する
- ・頭をすっぽりと包む給食頭巾と腕を折った時の応急処置としての三角巾のやり方を示した。
  - ・教科書を介して風呂敷を頭からかぶる防災頭巾を全員が試した。
- ⑨質疑応答を行い、ワークシートに感想やこれから自分がやろうとすることを書き、発表して授業を終了した。
- なお、ワークシートは講師が回収し、コメントを記入して学校へ返却した。

### 児童の感想

- ・3Rを積極的に使っていいこうと思います・たとえば、「着れなくなった服は、妹にあげる」とか「やぶけてしまったぬのをぬう」とか、身近なことから始めていいこうと思います。あと、今回やった包み方で一番いいと思った包み方は、「びん包み」です。理由は見た目がカッコいいし、細長い物なら何でも包めるからです。

- ・私は、だいたいなやり方はしていたけれど、一番最後のぼうさいづきんのやり方は知りませんでした。こんかいの2時間でこんなに教えてくれたので、私はとてもうれしいです。今日つきっきりで一緒に居てくれたよしのさん、今日は本当にありがとうございました。
- ・今日かえってお母さんに「エコバックの方がいいよ」と言いたいです。私の家はレジがくろしかつかわないので言いたいです。ふろしき包みもとても楽しかったです。とてもかんたんだったのは、四つ結び包みがとてもかんたんでした。とてもむずかしかったのは、びん包みがとてもむずかしかったです。家でもやりたいです。とても楽しかったのはリュックサックがたのしかったです。
- ・時代げきなどでキレイにふろしきでつつんでいるのを見て「むずかしそうだな」思っていたけれど簡単にできることを知り、おどろきました。この出前授業で学んだことを生かして、エコバックなどを活用していきたいです。

授業スナップ写真を添付しました。



授業が始まりました。今日は風呂敷包みでゴミを増やさない工夫を学びます。秋の学校行事で児童たちが保護者に風呂敷包みを披露するので、期待が大きいです。



地球の素晴らしさを画像で見ました。でもゴミが増えるとどんな困ったことが起きるかも見ました。海の生き物がゴミを間違えて食べて苦しんでいます。



牛乳パックはリサイクルされると何になるか？トイレットペーパーは何がリサイクルされてできたか？商品に書いてあることに気が付きました。環境マークなどに関心を持つことが大事です。



蛍光ペンやシャープペンの本体が食品トレイから出来ているなんて、知らなかったなー。スーパーに回収箱がある理由が分かりましたか？



エコバッグや作業服は何から再生されたか分かる人は？はい！はい！



ペットボトルから出来るフレーク、ペレット、綿などを見て、触って、服ができることを実感しました。



街の中でごみを増やさない工夫がたくさんあります。みんなで探して話し合いました。リサイクルショップやスーパーの出口にあるプラスチックの分別回収箱もごみを増やさない工夫です。



校長先生も見学に来ました。児童たちが普段の授業とは違った勉強の仕方をしていて、感心しましたとのことでした。



厚い図鑑を使って、風呂敷で四つ結び包みを体験しました。しっかりと結べました。



ペットボトルを使ってびん包みを体験しました。ペットボトルが倒れてしまうので難しかったですが、楽しかったです。



フランスパン模型を使って長い物を包む体験をしました。風呂敷の下方の左端に置いてくるくる巻きます。持ち方も教えてもらいました。



風呂敷2枚でリュックサックを作り、図鑑やペットボトル、筆箱などを入れて、教室内を歩き回りました。とっても楽しかったです。



風呂敷を応用して、防災頭巾作りを体験しました。その他に給食頭巾や三角巾も作れることを知りました。風呂敷は包むだけでなく、いろいろと使える大変便利なものだと分かりました。



従業の感想を発表しました。リュックサック作りが楽しかったです。風呂敷はレジ袋やエコバッグの代わりになるので、買い物に持って行きたいです。

以上